

第4次島田市男女共同参画行動計画（案）パブリック・コメントでの意見（抜粋）

①基本的取組2・性教育について

- ・性と生殖に関する知識の普及及び情報とは何のことか。私たちの子供にどんな性教育がされるのか。計画案の内容が抽象過ぎて、前もって、詳細の内容の公表をお願いします。どのような教育がなされるのかをまず公表し、市民の理解、承認をとってほしい。
- ・性に関する教育の実施が、LGBT への理解を深めるための情報発信と連動しないよう望む。
- ・まだ性が確立していない年齢の子供たちへの LGBT の教育はやめていただきたい。LGBT の権利は守るべきだが、LGBT になるような教育は少子化を促進することになる。よく検討をして教育をお願いします。

②基本的取組5(1)について

- ・第4次島田市男女共同参画行動計画(案)について6の新たな視点 P4 基本的取組5「多様な性のあり方を前提とした社会の形が求められています。」とあるが、それは市民が求めているのか。意識調査の報告書からも市民が求めていることが読み解けない。
- ・「静岡県パートナーシップ宣誓制度」の普及・啓発は市として必要な理由が見当たらない。県が行っている事業を市が関与する必要があるのか。

③基本的取組5(2)について

- ・外国人への配慮については、外国人が増えているという現実の認識、その理由、増えたことによる社会の変化、今後の見通しなど基本的な状況を市民が認識し話し合う必要がある。特に、どのような社会の変化が起きたかについて、良くなったことも悪くなったことも公平に扱う必要である。そのうえで自分は、日本の国は日本人のものであり、外国人はあくまでもお客様であると認識している。過度な配慮は、社会に大きな混乱をもたらしかねない。
- ・外国語表示は理解できるが、やさしい日本語とはだれに向けて行われるのか。間違った日本語を表示することで日本人の子供が間違った日本語を使用する事にならないように留意して検討をお願いしたい。

④基本的取組6について

- ・人口減少・少子高齢化が進む中とあるが、両親男女が仕事をするということは、人口減少・少子化を促進することになっていると考える。女性の子育ては仕事よりも重要な事だと思う。共働きが前提の政策では、少子化は止めることは出来ない。女性活躍は理解するが、仕事をしないと価値がないと見えてしまうので、子育てと仕事のどちらを選んでも活躍できる社会を目指してほしい。

⑤教育におけるジェンダー平等意識について

- ・学校でジェンダー教育など断じて反対する。ジェンダー平等を政府が推進していることを鑑みて、行政の一方的な対応となっていないか。まだ幼い子どもたちに過激とも思える性教育をすることは子育て世代の親は望んで無いと思うが、本当に市民の声や、当事者の声を聞いて政策提案したのか疑問。
- ・教育にジェンダー平等を実施というのは狂気の沙汰。しかも幼児からジェンダー平等意識の定着をする必要は絶対はない。
- ・もともと我が国で性的マイノリティに対する差別などあったのか。LGBT 理解増進法が制定されたことに違和感しかない。性的マイノリティに限らず、どんな場面でもどんな人にも差別などあってはならないし、それら全てを法制化して教育するのではなく、家庭や地域で自然に子供達に教えていく、子供達は心を持って成長と共に理解していくもの。基本的取組に「幼児期を含む教育現場に率先してジェンダー平等意識の定着を推進する」とあるが、そういう不自然な教育を推進してほしくない。
- ・思春期の生徒にとっては国や学校からの情報が全てと捉えられても仕方ないので、教育のやり方によってはどうにでも誘導できる。男女共同参画行動計画と言う公平性を感じるようなタイトルがついていると、メリットやデメリットに深掘りする事もなく単純にそれが良いものだとも思ってしまう。偏った情報や教育がなされるのが非常に心配。
- ・アメリカで行われている子どもたちへのジェンダー平等教育を日本も追随する傾向があるので、こうした教育が平準的にされる未来を想像すると末恐ろしく思う。
- ・男女共同参画行動計画について内容を読んだが、拙速に子どもたちへの教育はするべきではないと考える。LGBT、ジェンダー等の教育は大幅な見直し、慎重な運用をお願いする。

⑥男女共同参画について

- ・男女共同参画や男女平等を守ることには賛同致しますが、この中に不自然に LGBT 関連を推進させようとするいくつかの項目が出現しています。LGBT 法は男女参画と関連がありそうに見えて、実は全く別の問題であり、この計画に紛れ込ませて成立を図ろうとしているのではないかと疑いたくなる文面の構成に強い違和感を禁じえません。しかも LGBT を法制化したことがあたかも正しいかのような論調でかつ積極的に推進しようとする内容を盛り込んでいることに強い懸念を感じます。
- ・私は、性差別については、現在大きな問題はないという現状認識を持っています。それゆえに、ことさらに性差別や一般的でない身体的な事情や性嗜好や持っている人たちのことを取り上げる必要はないと考えます。
- ・私は、男女平等とジェンダーレスはイコール関係にならないと思います。ジェンダー平等(男女平等)を目指すとして島田市の公開資料に書いてあります。性別を超える(ジェンダーレスの)必要はないと思います。男女平等を口実にジェンダーレスを進めようとしているように感じます。

⑦市民意識調査について

- ・この計画に一番影響があるのが子育て世代と子どもたちだと考えるが、回答者の属性を見ると 18 - 39 歳までを合わせても 16.6%、ほとんどが 40 歳以上、特に 60 歳以上の方の回答が多い。60 歳くらいから上の世代の方達の回答を参考にした場合、子育て世代や子どもたちが実際に求めているものとの乖離があるのではないか。
- ・男女共同参画事業の目的の一部に女性の社会進出があるとするならば、働いている世代やこれから働くことになる世代を中心にアンケートを発送し意見募集する事が重要かと思う。
- ・3. 調査結果問1の設問が前提として「女性の社会進出を後押しする動きが広がってきている」とあるが、質問自体が偏っているように感じる。問いにするならば「女性の社会進出について」が適切ではないか。問6も「男女共同参画を進めるため」が前提になっており、選択回答になっているが、自由記入にするのが適切ではないか

⑧パブリック・コメントの周知方法について

- ・ホームページでパブリック・コメント募集について見られる方は少ないと思う。出来れば、LINE 等で知らせてもらえると嬉しい。